

トレーニング環境について

- ノートパソコンを持参ください。トレーニングは、ご持参いただいたノートPCを使用して実施いたします。ノートPCの推奨環境は以下の通りです。
 - CPU: Pentium4以上 (64bit対応のCPU)
 - OS: Windows XP以降(CPUが64bit対応であれば、OSは32bit版でも可)、または MacOS X 10.5以降
 - RAM: 2GB以上
 - 空きUSBポート: 1つ以上
 - マウス: Macの場合には、ParaViewの操作のために外付けのホイールボタン付きマウスを持参されることをお勧めします。
 - 次の情報をご確認ください。
 - BIOS設定方法 (パスワード設定時はそのパスワード。起動ディスクの順序を変更しUSB外付けメディアから起動できるようにする。仮想化技術(Intel Virtual TechnologyやAMD Virtualization)を有効にする。)
 - OSの管理者権限のあるユーザのパスワード
 - USB起動ができる、または、VirtualBoxやVMWare等の仮想環境ソフトウェアが動作すること。(動作することを確認してください。)
 - 当日の資料配布を容易にするため、できるかぎり、無線LANが使えること。
- OpenFOAM講習環境の仮想マシンを作成しました。仮想マシンのアプライアンス (Open Virtualization Format Archive形式 OVF1.0 拡張子 .ova) を配布いたします。動作確認と環境準備にご利用ください。
 - 下記アドレスからファイル「DEXCS2015OF-Sympo.ova」をダウンロードする。(ファイルサイズは約4GB)
 - <https://drive.google.com/file/d/0B8o9a16WUkVMRIIMWDdzR3lpYTA/view?usp=sharing>
 - virtualBoxを起動し、「ファイル」メニューから、「仮想アプライアンスのインポート」を選択する。先にダウンロードしたファイルを選択して、インポートを実施する。(仮想マシンが作成されます。12GB程度のディスク容量が必要です。)
 - 作成された仮想マシンを起動し、OpenFOAMの動作を確認する。(仮想マシンのユーザ名: user パスワード: user)
 - 上記の仮想マシン アプライアンスは、Windows, Mac, Linux等の各OS上の仮想環境からインポート可能です。
- Macの場合には、USBから起動できないので、その代わりにUSBメモリで配布するディスクイメージをVirtualBoxやVMWare等の仮想環境ソフトウェアから起動して頂きます。そのため、必ず事前に仮想環境ソフトウェアをインストールしておいてください。
- Windows8.1以降のマシンでは、通常にはUSBから起動できない場合がありますので、その変更方法 (UEFI BIOS) がわからない場合は、事前に仮想環境ソフトウェア

(VirtualBoxやVMWare)をインストールしておいてください。

- 企業でご利用のPCの場合、次の点をご確認ください。
 - USB起動ができない場合があります。そのような制限がないか、事前に確認をしてください。USB起動できない場合には、VirtualBoxやVMWare等の仮想環境ソフトウェアから起動して頂きます。そのため、必ず事前に仮想環境ソフトウェアをインストールしておいてください。
 - 企業でご利用のPCの場合、USBメモリが使用できない場合があります。講習環境や資料の配布が困難となりますので、USBメモリを使用できるPCをご用意ください。
 - セキュリティー等の都合で、USBに関する対応が困難な場合には、次のようなPCレンタルサービスのご利用をご検討ください。
 - http://www.e-tamaya.co.jp/html/goods/pc/pc_itemlist.php
- OpenFOAMの講習では、トレーニング用に配布するブータブルUSB（トレーニングテキストも同梱）を用いて演習を行います。USBメモリから起動することで、必要なソフトウェアがインストールされたLinux環境で作業が可能となります。
 - USBメモリからの起動ができない場合には、VirtualBox等の仮想環境上で同様のマシンを起動します。
- OpenFOAMの講習では、DEXCS2015 for OpenFOAM を講習環境として利用します。PCが講習に適しているかを確認するためには、次のサイトから取得したISOファイルを使ってご確認ください。
 - <http://mogura7.zenno.info/~et/wordpress/ocse/?p=2412>
- 「（構造解析初級）Salome-Mecaではじめる構造解析」「（構造解析中級）講習タイトル：応力解析に基づく構造設計入門」「（Paraview応用）スクリプトとマクロ機能の活用・アニメーション作成」では、解析環境を構築したPCを持参頂いてトレーニングを行います。
 - 解析環境は、テキストとして工学社発行「オープンCAE「Salome-Meca」ではじめる構造解析（著者：柴田良一、ISBN-13: 978-4777518166）」をご準備頂き、この附録DVDを用い構築します。
 - DVD起動が可能な場合には、直接にテキスト附録DVDので起動することをご確認ください。
 - 継続的に利用するならば、テキスト附録Bを参考に仮想マシン環境に附録DVDを用いて解析環境を構築してください。
 - PCの推奨環境は、他のトレーニングと同等です。
 - 上記書籍の代金は、トレーニング費用に含まれておりません。参加者各位にて、書籍をご準備ください。
- 講習会当日の12:30-13:30に、環境構築・確認のための時間が設定されています。環境の構築や確認が必要な方は、この時間にお越しください。
- 講習資料（スライド）のPDFファイルを、11月24日(火)までにお送りします。当日は印刷資料は配付いたしませんので、必要な方は、印刷して持参してください。
- 講習会の準備について、ご質問がございましたら、オープンCAEシンポジウム2015実行委員会 symposium2015.toyama.opencae@gmail.com までご連絡ください。